

平成30年  
1月  
Vol 17

しぶかわし

# 農業委員会だより

編集発行：渋川市農業委員会  
群馬県渋川市石原80番地 TEL.0279-22-2920



## 新年の挨拶



渋川市農業委員会  
会長 堀込俊一(中村)

新年明けましておめでと  
うございます。平成30年の年  
頭にあたり、農業委員会を代  
表いたしまして皆さまに謹  
んで新年のご挨拶を申し上  
げます。

平成28年4月に農業委員  
会法が改正になり、農地利用  
最適化推進委員が新設され、  
今年も農業委員とともに「地  
域の農地は地域で守る」をス  
ローガンとし、①遊休農地の  
解消②担い手への農地集積  
③新規参入の促進等を推進  
し、農地利用の最適化に、取  
り組んで行く所存でありま  
す。皆様の相変わらぬ「支  
援、ご理解を賜りたく、よろ  
しくお願い申し上げますと  
ともに、この1年が皆様に  
とって輝かしい年となるよ  
うご祈念申し上げます、年  
頭の挨拶とさせていただきます。

## 「こんにちは」 がんばっています！

今井 克由さん 53歳 (北橋町下箱田)



私は、昭和58年に就農し、現在40a(5ヶ所)でミニトマトをハウス栽培しています。有機質による栽培を心がけおいしいものを生産するように努めています。大雪によるハウスの被害もありましたが現在も天候に負けず甘くておいしいミニトマトを作っています。今後もよりおいしいミニトマトを作り続けられるよう努力していきたいと思ひます。

齋藤 和利さん 58歳 (赤城町北上野)



私は、24歳で就農し、就農歴は34年になりました。始めた当時は、キュウリとキノコを栽培していました。現在は、ブルーベリーとキノコを栽培しています。ブルーベリーの栽培面積は約1haです。赤城ブルーベリー組合の組合長を務めており、観光用のブルーベリーや観賞用の枝ものを作っています。枝ものの生産は日本一です。5月～8月はブルーベリー、10月～5月はキノコ栽培をしているので一年中忙しいですが楽しくやっています。また、土日は赤城第1農産物直売所の店長も務めています。新鮮な農作物を用意しますのでぜひ、お出掛け下さい。

平成30年度「渋川市農地利用最適化推進に関する意見書」を提出

平成29年10月18日市長に意見書を提出しました。その要点を以下に掲載します。

- 1 地域農畜産物・特産品を活用した農業の活性化の推進について  
(1) 特産品の販売促進・新産品の開発及び普及、集客販売施設整備と農畜産品の活用促進をお願いします。  
(2) 渋川市の魅力(日照、平坦地形、交通アクセスなど)を活かし企業型農業誘致の推進をお願いします。
- 2 農業委員会組織の活動に対する支援について  
(1) 次期の改選に向け、女性農業委員登用の環境づくりをお願いします。  
(2) 農業委員会活動に必要な予算の確保と農業委員会事務局体制の整備強化をお願いします。  
(3) 「耕作放棄地リフレッシュ促進事業」等、荒廃農地の解消・集積事業に市の協力和支援をお願いします。
- 3 担い手対策について  
就業希望者(新規・定年後など)のための初期相談受付窓口の設置と営農、技術指導の強化をお願いします。
- 4 有害鳥獣対策について  
狩猟者の減少対策として「渋川市鳥獣被害対策隊」の隊員に、市職員や農業関係団体職員等を委嘱するなどして狩猟者確保をお願いします。
- 5 食育の推進について  
安全・安心な地元農畜産物の消費拡大のため、農産物直売所の販売体制の拡充と農業経営の安定・発展に繋がる農畜産物の研究開発をお願いします。



意見書を堀込会長(左)から高木市長へ提出

平成29年度「渋川市農業施策に関する意見書」に対する回答

平成29年10月18日付意見書に対する回答が次のとおり要望に沿って示されました。

- 1 国・県への要請について  
【回答】 それぞれの要望については「全国市長会で重点提言及び、農業の振興に対する提言」として意見書を国会議員及び関係省庁に提出してまいります。引き続き関係機関と共に意見具申をしてまいります。
- 2 地域農畜産物・特産品を活用した農業の活性化の推進について  
【回答】 渋川広域農業活性化推進協議会を設置し、食材供給(伊香保旅館等)のための流通システムの運営支援や地元農産物の活用支援、新商品の企画開発支援、観光農園等のPRを行っています。引き続き「しぶかわ市民祭」等に参加し、観光と農産物のPRを進めてまいります。「選別農業法(しぶがせん)」については、農法普及と学校給食での利用拡大を図ると共に「しぶかわ版GAP(農業生産工程管理)」を導入し、ブランドの確立を図ってまいります。
- 3 農業用水の汚染防止対策について  
【回答】 引き続き受益者に早期の下水道への繋ぎ込みの要請を行い、水洗化率の向上を図ってまいります。
- 4 農業委員会組織の活動に対する支援について  
【回答】 他市の状況も踏まえ、課題解決のため貴会と調整を図りながら適切な支援をしてまいります。
- 5 遊休農地対策の推進について  
【回答】 遊休農地対策は、農地利用状況調査との関連があるため、引き続き貴会と調整してまいります。また、「耕作放棄地リフレッシュ促進事業」にも取り組んでまいります。
- 6 担い手対策について  
【回答】 担い手の経営確立、農業後継者の確保育成及び集落営農組織については、引き続き関係機関と連携し指導・支援を行います。



7

【回答】農業生産基盤整備・維持管理について

土地基盤整備事業は、地域の合意形成を前提として、農業委員と連携して費用対効果にも配慮し支援をしていきます。また、農道及び用排水路の整備は、地域や水路組合等の要望に対応する中で計画的に進めていきます。

【回答】有害鳥獣対策について

有害鳥獣対策については新たに「渋川市鳥獣被害対策隊」を設置し、捕獲強化に努めていきます。また、電牧柵の安全対策は、設置者への安全表示板設置、安全点検の励行を指導していきます。

9

【回答】食育の推進について

安全・安心な農産物の提供について、「選別農業農法・しぶせん」を推進し市内農産物直売所での販売、学校給食への提供などとして拡大を図っています。

10

【回答】農地情報の整備・強化について

要望のあった農地の地籍調査、非農地判定、課税判定等については、引き続き関係部局への働きかけと連携に努めていきます。

11

【回答】農業施策に対する市の体制強化について

引き続き国の機関「関東農政局群馬支局」と農政全般にわたり連携し、課題解決に取り組んでいきます。



意見書の趣旨説明

## 農地中間管理機構の活用を！

平成26年4月に農地中間管理機構(以降「中間管理機構」という)が発足して早くも3年が経とうとしてますが、まだ、十分に皆様にその存在や事業内容などが認知されていません。そこで今回は、中間管理機構の目標、事業内容、利用方法などを取り上げ、皆様にご理解と今後の活用をお願いします。

### 農地中間管理機構とは??

【事業の概要】

農地中間管理事業は、公的機関が間に入って農地の貸し借りをを行う、新しい農地の貸し借りの仕組みです。農地中間管理機構(群馬県では、公益社団法人群馬県農業公社)が市町村と連携し耕作を続けるのが困難な農地を所有者から借り受け、まとまりのある形で利用できるように配慮して農業の担い手等に貸し付けを行う事業です。

【目標】

今後10年間で担い手の農地利用が全農地の8割を占める農業構造を実現(農地の集積・集約化によるコスト削減)

【貸借の手続き】

〈貸し手〉渋川市農林課に用意してある「貸付希望申込書」に必要事項を記入して農林課に提出(随時受付)する。

〈借り手〉渋川市農林課に用意してある「借受応募書」に必要事項を記入して農林課または群馬県農業公社へ提出(随時受付)する。

【借受農地の条件】

- ・農業振興地域内の田・畑等
- ・農用地の利用効率化・高度化に資すると見込まれる農地
- ・再生可能と判断される農地
- ・借受希望者が確認でき、貸し付けの可能性が高い農地
- ・農用地の賃料が農業委員会の提供する情報からみて適切であること

【利用者のメリット】

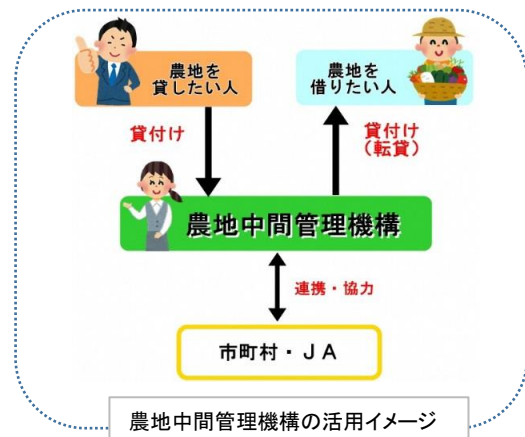
〈貸し手〉

- ・契約期間中(原則10年)は賃料が口座振替で公社から支払われる
- ・一定の条件を満たせば「機構集積協力金」の交付対象
- ・相続税納税猶予の継続、経営移譲(特例不可)年金の継続支給など

〈借り手〉

- ・長期(原則10年以上)継続して耕作できる
- ・契約相手は公社のため、契約交渉や賃料支払いが簡単
- ・認定農業者は、スーパーL資金が5年間無利子など

※このほかにも、遊休農地の利用意向調査において中間管理機構の利用を選択すれば固定資産税引き上げが免除されます。また、機構関連事業として公費による(個人負担ゼロ)農地の連たん化・集積化整備事業なども進めています。詳しくお知りになりたい方は渋川市農政部農林課、農業委員会事務局、地域の農業委員、農地利用最適化推進委員までお問い合わせください。



農地中間管理機構の活用イメージ

# 平成30年度の渋川市農作業労賃標準額

## 1. 臨時雇用賃金

作業名	単位	標準額	付記
農作業全般(田植え、稲刈り、麦刈り、こんにゃく・野菜等値付け、収穫、草刈り)	1時間当たり	800円から	労働条件により異なります

## 2. 農作業請負料金

作業名	単位	標準額	付記
代かき	10a当り	10,000円	整地作業は別料金
畦畔塗り	1m当り	80円	なし
機械田植え	10a当り	9,000円	値付のみ
育苗代	1箱当り	720円	中苗(芽出しは440円)
刈り取り(水稻)	10a当り	18,000円	結束・倒伏は割増(コンバイン)
〃(麦)	〃	18,000円	結束・倒伏は割増(コンバイン)
〃(大豆)	〃	15,000円	結束・倒伏は割増(コンバイン)
乾燥(水稻)	60kg当り	1,000円	なし
もみすり調整(水稻)	〃	1,000円	なし
乾燥・調整(麦)	〃	1,500円	なし
麦まき一式	10a当り	18,000円	種子、肥料代は別(耕耘、施肥、播種、整地、鎮圧)
ロータリー(耕耘)	〃	8,500円	1回(2回以上は割増)
プラウ(すき耕)	〃	8,500円	なし
桑抜根	〃	35,000円	抜根のみ(補足)抜根処理すると185,000円(運搬距離・処理量により異なります。)
サブソイラー	〃	8,500円	クロスかけ(ピッチ幅70cm×深さ50cm)
遊休農地管理	〃	30,000円	耕耘、草刈、畦畔等管理(年3回)
運搬費(粃・玄米)	1回	2,500円	なし
緑肥チップ(シュレッダー)	10a当り	6,000円	なし
コンバイン回送	1回	3,240円	なし

※これはあくまでも標準額です。詳しくは農業委員会事務局へ(☎22-2920)

## 家族経営協定締結でさらなる前進、さらなる躍動を！

家族経営協定は、家族で取り組む農業経営で経営の方針や家族の役割、就業時間や給料などを取り決めます。そして文書にまとめ家族みんなで実行し、必要に応じて見直しを行います。それによりさらなる農業経営の強化と発展を目指すものです。

平成29年度は、7組の家族が協定を結ばれました。おめでとうございます。

### [協定を締結した農家の皆さん]

- ・林和夫さん・千代子さん・啓太さん・佳代さん(石原)
- ・赤石美菜子さん・忍さん(金井)
- ・中野雄護さん・ひろみさん・宗一郎さん・アサ江さん(中郷)
- ・渡邊浩二さん・サト子さん・豊さん・由季さん(白井)
- ・都丸悟さん・礼さん(赤城町敷島)
- ・堀井一平さん・裕紀さん(赤城町溝呂木)
- ・長岡和代さん・友也さん・圭一さん・みつ恵さん(赤城町上三原田)



調印式に参加された皆さん(平成29年8月17日)

### 編集後記

私達、第4期農業委員も今年4月からは任期の最終年度に入ります。今期は農業委員会法改正により、農地利用最適化推進委員制度が導入され農地の集積、遊休農地解消を重点に取組んできました。しかし、農地中間管理機構の機能不足や中山

間農地の耕作条件の悪さ、農業委員会の活動不足などがあり、十分な成果が上がっていません。今年は「任仕仕上げの年」と捉え、取組みたいと思いますので皆様、一層のご理解とご協力をお願い致します。  
[広報委員長 狩野徳市]